



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2018

No. 36 (平成31年1月31日発行)

佐高 SGH 高1 ファイル

## 海外グローバル研修ネイティブ指導

1月19日(土)と20日(日)の2日間、高校1年生の海外グローバル研修参加生徒が、外国人講師の先生方から課題研究に関して指導を頂きました。今回指導をしてくださったのは、カナダのシヨーン先生、フィリピンのサンパギータ先生、ナイジェリアのポール先生の3名です。どの先生も、優しく面白く、そしてとても上手に指導してくださいました。アイスブレイクとして英語ゲームに挑戦したり、先生方の母国の紹介を聞いたりした後、自分達の課題研究を英語で発表し、内容や方法についてアドバイスを頂きました。先生方が共通してアドバイスしてくださったのは、「大きな声ではっきり」「笑顔で楽しそうに」「ジェスチャーやアイコンタクトをしっかりと」など、日本人がなかなか意識しにくい、しかし、発表の時にはとても大切なポイントでした。**生徒たちは、最初は緊張していましたが、先生方のハイテンションと、「みんなでカナダで頑張るぞ!」という気合いに支えられ、2日間、英語だけしか使えない研修を立派にやり遂げました。**最後はミニコンテストを行い、お互いの成果を確認しましたが、**みんな、見違えるように発表が上手になっていたこと、今後への真剣な表情が伺えたこと、そして笑顔が素晴らしかったことが印象的でした。**今回の経験を2月22日(金)の課題発表コンテストに、そして、3月のカナダ研修に生かしてほしいです。



まずは自己紹介



フィリピンの古銭を拝見



ゲームでアイスブレイク



シヨーン先生の指導



サンパギータ先生の指導



ポール先生の指導



発表の練習です



ミニコンテスト



みんな頑張りました



最後はみんなで記念撮影。コンテストも、カナダ研修も頑張ろうね！

### ○生徒の感想

この研修で、英語で話すことへの抵抗がなくなったと思う。発表のアドバイスをもらったり、先生に質問したりする中で、上手く英語をしゃべるより、伝えようと努力することが大切だと学んだ。今回の研修で身につけたことを、これからの将来に生かしたいと思う。  
1組 大島彩 さん

この2日間、ネイティブの先生方の生きた英語と触れ合う中で、まず自分の英語の拙さを再認識しました。特に自分の伝えたいことが伝わらないもどかしさを感じました。しかし、その中でもコミュニケーションがとれたりするととても嬉しかったです。また、この研修では、発表内容の改善を進められただけでなく、プレゼン力の向上も実感できました。最後のミニコンテストでは1位を取ることができて嬉しかったです。  
1組 熊倉幸寛 くん

この2日間は、まるで海外の授業を受けているみたいでした。講師の方の英語での指示やアドバイス、エネルギー的な指導に英語で応えられたとき、自分に自信を感じることができました。カナダでも自信を持って、積極的に会話をしたいと思います。  
1組 店網泰吾 くん

他班と比較しながら、自分達の班の現状をよく知ることができました。完成度の低さを痛感するとともに、競争心をかき立てられる素晴らしい機会となりました。5分という制限時間の中で、結果からの考察をより深め、課題である文章量の調整をこれから協力して進めていきます。  
1組 深津拓末 くん

自己紹介やアイスブレイクでは、楽しみながら先生や友達と会話することができました。課題研究の発表練習では1人1人にアドバイスをくださったので、この2日間ですごく進歩できた気がします。発音やジェスチャー、アイコンタクトは特に上達できました。ネイティブの先生と会話をしたりアドバイスを頂いたりして、英語で会話することは楽しいなと、改めて強く感じました。これからも工夫を積み重ね、班員で協力をし、本番に向けて全力で頑張っていきたいと思います。  
2組 丸山結菜 さん

私は講師の先生がたびたびおっしゃっていた、“Japanese is shy”という印象を覆したいと強く思った。真面目に律儀に発表することが日本では良いこととされているが、国際的に魅力的なプレゼンをするためには、この2日間の合い言葉であった“Don't be shy”が最重要であるのだと学んだ。BIG ジェスチャー！BIG スマイル！を常に心がけたい。  
3組 中山実千花 さん

楽しむことと学ぶことを両立させ、自身の技術の伸びをととても感じる事ができた。講師の方からは、プレゼンに必要な Voice、Gesture、Smile の3つを教えていただいたが、プレゼンの印象が自分でも驚くくらい良い方向に変化した。また、アクティビティで英語に対してのモチベーションが上がったので、とても楽しかった。  
4組 神田康輔 くん